

令和4年度の学校評価

<p>本年度の重点目標</p>	<p>今年度、創立50周年の節目を迎え、今まで以上に安全で安心な学校づくりを家庭や地域と連携を図りながら推進する。そして3年間の学びを通して、生徒や保護者の夢に繋がる指導を進め、社会から期待される生徒の育成を目指す。</p> <p>(1) 生徒との好ましい人間関係をつくり、職員と生徒が丸となって教育活動に取り組む。</p> <p>(2) 基礎・基本を大切に、分かりやすい授業を実践すると共に、生徒の学習意欲を引き出すための授業改善に取り組む。</p> <p>(3) 生徒が自ら目標を設定し、目標達成のために行動する姿勢を育成する。</p> <p>(4) 基本的な生活習慣の確立を図り、全校生徒が自ら進んであいさつができるように、生徒を主体としたあいさつ運動の支援を行う。</p> <p>(5) 生徒を地域のイベントに積極的に参加させるなど、より多くの学びの機会を設け、活動を通して達成感や自己有用感などを体得させ、自ら進んで学ぶ姿勢を養う。</p> <p>(6) 工科高校として、時代と地域社会に即した教育の在り方について研究する。</p> <p>(7) 普段の教育活動や行事内容をホームページなどを積極的に活用して、家庭や地域社会に向けた情報発信に努める。</p> <p>(8) 安全衛生委員会などの既存組織を活用し、ワーク・ライフ・バランスに十分配慮し、職場環境を整えていく。さらに業務改善に向けた取組として「業務の見える化」を進め、業務を分担できる体制をつくる。</p>		
項目	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創立50周年記念事業に向け、同窓会とPTA、学校が団結して取り組む。 ・防災意識の向上と防災対策の充実をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創立50周年を迎えるにあたり、同窓会やPTAと連携し、生徒が在校生としての誇りを持つような記念式典を目指す。 ・地域や碧南市などと連携し、避難所開設訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策を十分に考えた式典にするため、綿密な計画を立てる。 ・生徒、職員の防災意識を高めるような活動を充実させる。
<p>教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新校務支援システム(スクールエンジン)の導入に対して、現行システムからの生徒情報の移行および校務における運用を進める。 ・入試制度の改変に合わせて、校内業務との調整を図りながら入試業務を遂行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新校務支援システム(スクールエンジン)への移行において、職員向け運用マニュアルの作成や講習を通じて操作方法を周知させる。 ・業務の停滞を招かないように、担任や関連分掌と連絡を取り合いながら効率的に進める。 ・入試制度の改変による校内の入試要項の見直しを早めに行い、選抜委員会を経て、全職員に周知できるようにする。 ・分掌内において、業務の分担を明確にして、平常の学校運営と入試業務を並行して進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新校務支援システム(スクールエンジン)の導入に対して、現行システムの違いを精査し、全面運用を目標にする。 ・項目と関連分掌とを結びつけ、業務内容を明確にして、分担しながら進める。 ・入試日程が大きく変わることによって、例年にはない校内業務への影響を把握し、考査や成績処理、生徒指導等の平常の学校運営と入試準備・実施を滞りなく行う。
<p>図書部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・with コロナ時代の図書館の在り方を構築する。 ・生徒の図書館利用の減少を食い止める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書オリエンテーションや読書感想文コンクールなどの図書館活動や、授業および部活動の図書館利用において、負担にならない感染対策を模索する。 ・魅力的な図書館のディスプレイや生徒が読みたいと思う新刊図書を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況に応じて、感染対策の内容を変えていく。 ・職員図書委員会や生徒図書委員会にも協力をお願いする。
<p>生徒指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のルールやマナーの遵守、規範意識の確立 ・いじめの早期発見と適切な事案対処 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校活動を通して、マナー、モラルを意識させ、社会の一員としてのルールの重要性和遵守を自覚させる。 ・いじめの情報収集、事案対処の在り方について検証し、いじめの早期発見に努めるとともに適切な対処を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する生徒に配慮した生徒指導を行い、生徒の自己指導能力の向上を目指す。全職員で問題点の改善に努めるとともに、家庭とも連携をして指導にあたる。 ・教職員間で情報の共有化を図り、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境づくりを行う。
<p>特活部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校(生徒会)行事への積極的な参加を促す。 ・福祉・ボランティア活動を通して慈愛の心と社会人基礎力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の部活動の定着及び活性化を図る。 ・生徒会の行事が生徒主体で行えるように計画し支援する。 ・福祉・ボランティア活動を通して、地域に貢献できる生徒の育成を目指す。 ・あいさつのできる社会人の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間続けられる部活動選びを勧める。 ・生徒中心で学校行事を運営できるように指導していく。 ・ボランティア活動の意義を理解させ、生徒が主体的に活動するように促す。 ・毎日あいさつ運動が行えるように、持続可能な計画を立てる。

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全般を通して正しい職業観・勤労観を育み、生徒の進路選択、進路実現の支援に努める。 ・選科の実施に当たり、生徒の将来設計を考えた選択ができるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任を柱として、学科や職員との連携を深め、情報提供および情報交換を密にし、連携をした進路指導を目指す。 ・二分掌制となるため学年の進路担当と連携して、学年会とキャリア教育の充実を図る。 ・選科実施の当たり、学年会、学科主任、家庭科主任と協力をして分かりやすい資料作成や情報提供を実施し、選科作業を進め、選科の年間計画を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対して事業所見学や面談などを通して、進路指導に生かせる情報を得られる機会を提供できるようにする。 ・企業訪問やWebでの説明会への参加など、企業情報の収集について担任を中心に出来るようにする。 ・校内サーバおよびホームページにおける進路情報について整理・見直しをさらに進め、必要な情報がスムーズに伝達できるようにする。 ・選科についての年間予定・各学科資料など選科に向けた情報提供をスムーズに伝達できるようにする。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立させ、心身の健康を保ち自主的な健康管理が行えるようにする。 ・新型コロナウイルス感染防止対策の徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団、個別の保健指導を行い、健康に対する意識の向上を図る。 ・保護者、教員、関係機関が連携して個別の支援について検討する。 ・新型コロナウイルス感染防止対策について継続的に注意喚起と予防に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生の保護者に入学時に「支援を必要とする生徒の健康調査票」の提出を依頼し、支援の手立てを検討するために役立てる。 ・必要に応じて個別の健康相談を実施する。 ・感染状況に応じて全職員に協力を得て感染防止の徹底を図る。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得の推進と情報提供 ・校内の生徒用情報端末の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得や競技会において、必要な情報を生徒に伝え、挑戦を促す。 ・生徒用タブレットの配備を速やかに行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な資格試験の日程や競技会、クラフトマンについての、関係職員との情報交換を適切に行う。 ・生徒用タブレットについて、その運用方法の整備についても行き、適切に運用できるようにする。
機械科	<ul style="list-style-type: none"> ・安全作業や基礎・基本の定着を図るとともに機械教育の探究に努める。 ・時代と地域社会に求められる人材の育成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や実習の各単元の目標や目的の明確化を図るため、テキストや資料のデジタル化を推進する。 ・企業見学や、地域イベントへの参加を積極的に行い、企業からの要望や地域の声を集約し、授業や実習テーマについてキャリア教育の最適化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCにて作成したテキストや資料は所定の機械科フォルダに保存することを推進する。また、そこから利用したデータについても必ず手を加えて改善するように心がける。 ・企業見学や地域イベントの機会を捉えて、積極的に意見交換をし、職員間で情報の共有化を図り、授業や実習テーマの編成を検討する。
電子工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・くくり募集を生かした幅広い学びに加え、専門分野での学ぶ力の向上を図る。 ・広報活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所見学や地域イベントへの参加を行い、自己の進路実現に向けた学習意識と社会人として求められる人間力の向上を図る。 ・中学校訪問や学校説明会など外部への情報発信において、配布資料やホームページの充実を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習や外部イベントへの参加を通して、社会で求められる人間力に対する理解を図る。 ・製造業＝機械のイメージを改善できるような情報発信やPR活動を行う。
建築デザイン科	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな資質・能力を育み、キャリア教育を行う。 ・家庭や地域に対する情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を用いた授業を通し、生徒の興味関心を引き出すような授業を行うとともに、専門の資格取得を目指す。 ・上級生による情報交換や卒業生によるキャリア教育の向上を目指す。 ・大学、専門学校、地域主催の建設系のコンペなどに積極的に参加し、建設業の興味関心の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師、現場見学、出前授業を通して建設業の興味関心の向上に繋げる。また、資格の情報発信と指導を行い、積極的に資格取得に取り組む。 ・生徒が自ら積極的に参加し、自身の体験談を後輩に伝えるとともに、工科高校生と地域とのつながりを充実させる。

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
環境工科学科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着と資格取得の充実を図る。 ・環境工科学科（生活コース）の学習内容の充実を図る。 ・地域へ向けた環境工科学科のPR活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程のスタートとともに環境工科学科の学習内容、目標とする資格取得を明確にして、全教員で指導に当たる。 ・環境工科学科の基礎となる製品評価や品質管理実習、生活コースの実習内容を検討して充実させる。 ・校外イベント等への積極的に参加をするとともに、ホームページによるPR活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動を定着させるためにノート・プリント等の指導や課題の提出について指導していく。 ・資格取得について、資格の必要性やメリットについてPRをして、受験者数と合格者数の向上をさせる。 ・教員が、新規備品を利用したテキスト作成し、テーマ作成を行う。 ・課題研究などを通して、地域とのつながりを充実させる。活動内容をホームページに掲載し、PR活動を行う。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の定着と社会人基礎力の向上 ・進路実現に向けてのキャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守り、自己管理ができる生徒を育てる。さらに前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力など、社会人として必要な能力の向上を図る。 ・進路を実現させるための自己分析と企業研究を進め、学力の向上を図り、自らが希望する進路を実現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守る・挨拶・返事整理整頓などの基本的な生活習慣を粘り強く指導する。 ・部活動や資格取得などで、努力を成果につなげさせ、達成感や自己有用感を高める。 ・進路指導部や学科と連携し、企業研究を進め、自己理解を深めさせる。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の定着 ・礼節を重んじた行動 ・進路実現に向けてのキャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・5分前行動を習慣づけ、自ら率先して行う挨拶と身だしなみの向上を図る。 ・自己分析を通して、将来像を考えさせ、進路実現のために何をしたらよいか、思考を深めさせる。 ・部活動や学校行事、資格取得、ボランティア活動に積極的に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守ることの大切さや挨拶はコミュニケーションの第一歩であることを説明し、理解させる。 ・面談やHRを通じて、進路意識を高める活動を実施する。 ・校内外における様々な活動に積極的に参加する雰囲気を作る。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立を図る。 ・工科高校生としての自覚をもたせ、将来への目標を設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5分前行動や自ら挨拶することを心掛けさせる。 ・家庭との連携を密にし、気になる生徒の対応を迅速にする。 ・高校生活を通し、資格取得やボランティア、部活動等に目標をもって取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全体を余裕のあるものにするための声かけをしたり、教員からも積極的に大きな声であいさつをしたりする等、率先垂範の姿勢をとる。 ・家庭との連携の状況も含めた生徒情報を校内では学校全体で共有する。 ・取得が容易なものから挑戦、合格させ自信をつけさせる。視野を広げさせるために、多くの活動に参加させる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・スクール・ポリシー「三つの方針」の（1）（2）について ・業務の見える化・業務の精選・業務分担による働き方改革の推進 ・教員のワーク・ライフ・バランスの啓発 ・ICTを活用した授業の推進 	